
第72期 年次報告書

(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)



証券コード5697

株式会社サンユウ

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成30年3月31日をもって第72期の事業年度を終了いたしましたので、ここにその事業の概況及び決算の結果についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国の政策動向及び中東・朝鮮半島の地政学的リスクなどの懸念要因があったものの、政府による経済政策や好調な企業業績により、設備投資や雇用環境の改善が継続し、景気は緩やかな回復基調が続きました。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界（当業界）におきましては、主要需要家である自動車業界の生産活動が、前年度下半期から引き続き堅調に推移したことから、平成29年暦年における当業界の生産量は1,862千トンと前年に比し114千トン増加いたしました（前年比6.5%増）。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて収益の確保に取り組みました。

販売面では、既存の顧客に対するきめ細かな営業活動に加え、新規取引先の開拓により販売数量の拡大に努めた結果、販売数量は拡大し118千トン（前期比6.1%増）となり、売上高は17,220百万円（同11.8%増）と増収となりました。

損益につきましては、材料（鋼材）価格の値上げの影響があったものの、製品価格への転嫁及び販売数量の拡大に努め、併せて固定費を始めとするコスト削減等に取り組んだ結果、営業利益は493百万円（同68.8%増）、経常利益は530百万円（同69.7%増）と増益となりました。また、平成29年4月1日付で完全子会社の株式会社サンユウ九州を吸収合併したことによる繰延税金資産の計上に伴い税効果適用後の税金費用が軽減したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は418百万円（同114.6%増）と増益となりました。

なお、事業部門ごとの業績は次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は65千トンとなり、売上高は10,712百万円（同11.3%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量は53千トンとなり、売上高は6,508百万円（同12.6%増）となりました。

当連結会計年度に実施した設備投資の総額は488百万円で、その主なものは、当社における本社工場景観工事（131百万円）であります。これらの資金は自己資金及び借入金にて賄いました。

わが国経済の今後の見通しにつきましては、雇用及び所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、引き続き緩やかに回復していくことが予想されますが、海外経済の不確実性などの懸念要因があり、楽観視できない状況にあります。

わが国の当業界の今後の見通しにつきましても、主要需要業界である自動車・建設機械分野において需要は堅調に推移していますが、鉄鋼原料価格の上昇を背景とした材料（鋼材）価格の更なる改定及び電気・ガス料金の値上げによるコストへの影響が懸念されます。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、保有する生産設備の効率的且つ最適な稼働を図るなどグループ間・事業所間の連携を一層強化することにより、グループ内経営資源を有効に活用し、連結収益の最大化を追求する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ以上の諸事情をご賢察のうえ、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

代表取締役社長 西野 淳二

事業の内容

(株)サンユウは平成30年4月1日に三和精密工業(株)を吸収合併いたしました。

●生産

大阪府内の2工場及び熊本県の九州工場を軸に、品質・数量ともに安定した効率的生産体制を構築しています。

需要家の求めるあらゆる用途や条件に適合する優れた品質の製品を安定的・効率的に生産し、迅速・確実にお届けするために、大阪府内の枚方市と八尾市及び熊本県菊池市に消費地密着型のみがき棒鋼（普通鋼・構造用鋼、合金鋼、快削鋼、ステンレス鋼）と冷間圧造用鋼線（普通鋼・構造用鋼、合金鋼）の工場を展開しています。枚方市にある本社工場では、みがき棒鋼の多品種生産を行うとともに精密加工により、高付加価値製品を産み出しています。八尾工場及び九州工場では、みがき棒鋼を生産するとともに自動酸洗設備及び熱処理炉を最大限に活用した冷間圧造用鋼線の生産により、自動車関連需要に対応しています。高炉・電炉メーカーの厳しい品質管理のもとで生産された優れた素材を使用することにより、良質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を生産し多くの産業界に提供しています。

●品質管理

鉄鋼メーカーと共同でよりよい品質の製品を開発しており、厳しい品質管理体制は需要家にも定評があります。

技術革新の著しい進展のなかで、製品に対する品質要求はますます高まっています。当社グループでは、高速度生産ラインによる高精度の生産を行うために、その生命線ともいえるべき引抜きダイスの寸法精度を厳密に管理するとともに製品の寸法精度や形状精度を向上させ、表面きず等を低減させるために、徹底した工程内検査や厳格な出荷前検査を実施しています。特に表面きずについては渦流探傷機等を活用し、万全の注意を払って検査しております。また、新日鐵住金(株)とは新製品・新技術の開発計画、品質等について定期的に研究会を開催し、共同開発や共同品質管理体制を確立しています。(株)サンユウにおきましては、ISO9001及びISO14001の認証を取得しており、今後とも品質の充実を図ってまいります。

●物流

業界随一の自動立体倉庫を軸に多品種の標準製品を常備在庫し、多様なニーズに即応できる全国的な物流・情報ネットワークを完備しています。

「必要なとき必要な製品を必要だけ供給する」といった販売基本方針のもと、製品を供給するために、全国をカバーする物流・情報ネットワークを構築しています。その核となるのが、大阪府内2カ所に設けた営業用立体倉庫で、常時9,000トンもの多彩な標準製品をストックしています。特に東大阪市に設置した業界初の自動立体倉庫では入出庫管理はすべてコンピューター化されているので、需要家が求める製品がどこにあるかを瞬時に検索することができるようになっています。その結果、効率的な搬出入作業が可能となり、近畿圏の即納体制を確立しています。また、北海道から九州まで、全国各地を網羅した地域特約店との関係を強化することにより、(株)サンユウの4営業店舗及び子会社の大同磨鋼材工業(株)の各拠点と合わせて全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

●技術

優れた良質の素材と最新の技術力、設備力で、高精度・高品質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を効率的に生産しています。

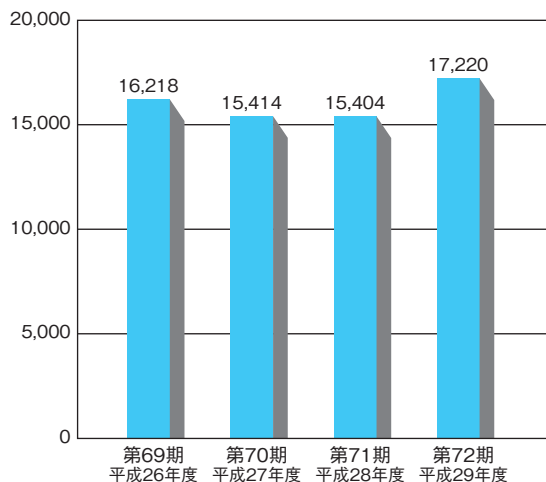
みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線は、鉄鋼メーカーの優れた品質の熱間圧延材を使用し、冷間引抜き加工等により生産しています。冷間引抜き加工とは、厳密な寸法・形状の穴型をもつ引抜きダイスと呼ばれる超硬合金製の工具で、少し大きい寸法の素材を穴型を通して引き抜くことにより、穴型の寸法・形状に成型する加工方法のことをいいます。

このうち、みがき棒鋼は（引き抜き矯正）工程または（表面切削（ピーリング）ー矯正）工程により精密な寸法・形状に仕上げられた棒状の製品をいい、引抜き機は細物用に使用する連続抽伸機と太物用に1本ずつ引き抜く棒鋼引抜き機（ドローベンチ）の2種類を使用しています。当社グループでは、最新の連続抽伸機、棒鋼引抜き機、ピーリング及び矯正機を導入し、精密で高品質の製品を効率よく生産し、さまざまな需要家ニーズに応じています。

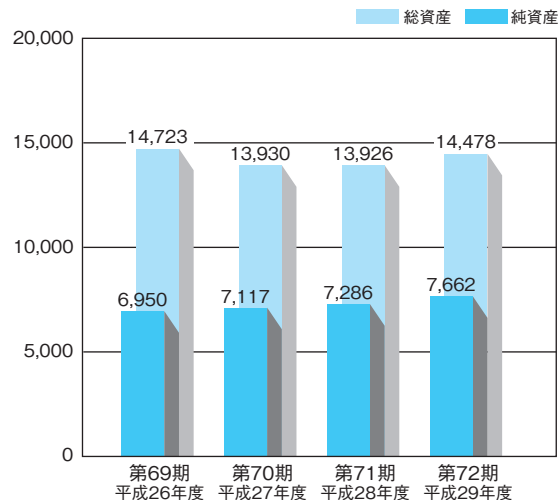
一方、冷間圧造用鋼線は、自動酸洗設備で表面の酸化皮膜を除去した後、伸線機で引き抜くことにより精密な寸法・形状に仕上げられたコイル状の製品をいい、熱処理設備で熱処理を行うことにより、高品質の製品を生産し好評を得ています。

連結業績の推移

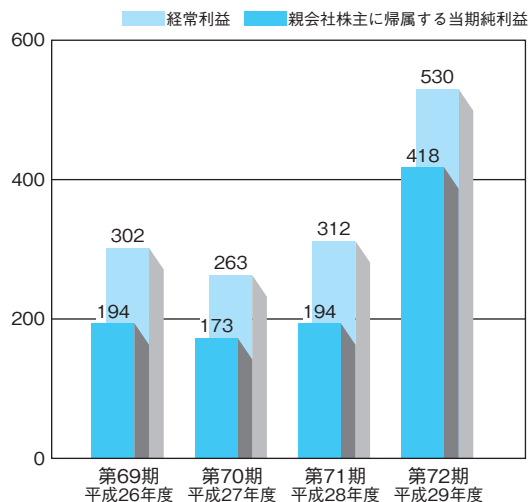
売上高 (単位:百万円)



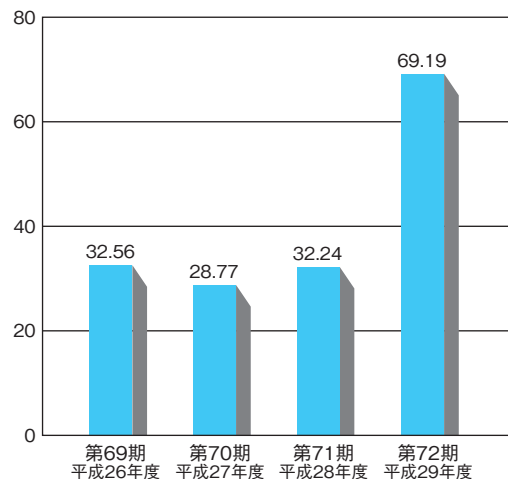
総資産・純資産 (単位:百万円)



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表（平成30年3月31日現在）（単位:千円）

科 目	金 額
〔 資 産 の 部 〕	
流 動 資 産	9,434,279
現 金 及 び 預 金	1,093,117
受取手形及び売掛金	5,014,101
棚 卸 資 産	3,041,904
そ の 他	285,156
固 定 資 産	5,043,857
有 形 固 定 資 産	4,695,920
建 物 及 び 構 築 物	1,554,280
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	1,539,177
土 地	1,448,032
そ の 他	154,429
無 形 固 定 資 産	97,651
投 資 そ の 他 の 資 産	250,285
資 産 合 計	14,478,137
〔 負 債 の 部 〕	
流 動 負 債	6,158,268
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	4,898,098
1年内返済予定の長期借入金	380,000
そ の 他	880,169
固 定 負 債	657,714
長 期 借 入 金	450,000
退 職 給 付 に 係 る 負 債	60,636
そ の 他	147,077
負 債 合 計	6,815,982
〔 純 資 産 の 部 〕	
株 主 資 本	7,658,407
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,318,057
利 益 剰 余 金	4,848,029
自 己 株 式	△ 21,367
その他の包括利益累計額	3,747
その他有価証券評価差額金	3,747
純 資 産 合 計	7,662,154
負 債 ・ 純 資 産 合 計	14,478,137

(注) 1. 連結子会社は、大同磨銅材工業株式会社及び三和精密工業株式会社の2社であります。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 9,823,473千円

連結損益計算書（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）（単位:千円）

科 目	金 額
売 上 高	17,220,651
売 上 原 価	14,846,358
売 上 総 利 益	2,374,292
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,881,197
営 業 利 益	493,094
営 業 外 収 益	56,480
営 業 外 費 用	18,983
経 常 利 益	530,592
特 別 利 益	131
特 別 損 失	135,110
税金等調整前当期純利益	395,613
法人税、住民税及び事業税	85,885
法 人 税 等 調 整 額	△ 108,493
当 期 純 利 益	418,221
非支配株主に帰属する当期純利益	—
親会社株主に帰属する当期純利益	418,221

(注) 1株当たり当期純利益 69円19銭

連結キャッシュ・フロー計算書（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）（単位:千円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	937,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 553,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 359,544
現金及び現金同等物の増加額	24,567
現金及び現金同等物の期首残高	1,068,549
現金及び現金同等物の期末残高	1,093,117

連結株主資本等変動計算書（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）（単位:千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	1,513,687	1,318,057	4,472,119	△ 21,331
当期変動額				
剰余金の配当			△ 42,312	
親会社株主に帰属する当期純利益			418,221	
自己株式の取得				△ 35
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	375,909	△ 35
当期末残高	1,513,687	1,318,057	4,848,029	△ 21,367

	株主資本	その他の包括利益累計額 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
当期首残高	7,282,533	3,938	7,286,471
当期変動額			
剰余金の配当	△ 42,312		△ 42,312
親会社株主に帰属する当期純利益	418,221		418,221
自己株式の取得	△ 35		△ 35
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		△ 190	△ 190
当期変動額合計	375,873	△ 190	375,683
当期末残高	7,658,407	3,747	7,662,154

個別財務諸表の要旨

貸借対照表（平成30年3月31日現在）

(単位:千円)

科 目	金 額
[資 産 の 部]	
流 動 資 産	8,765,921
現 金 及 び 預 金	918,039
受取手形及び売掛金	4,809,545
棚 卸 資 産	2,766,992
そ の 他	271,344
固 定 資 産	5,264,315
有 形 固 定 資 産	4,226,695
建 物 及 び 構 築 物	1,545,687
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	1,325,989
土 地	1,239,532
そ の 他	115,486
無 形 固 定 資 産	95,992
投 資 そ の 他 の 資 産	941,627
資 産 合 計	14,030,236
[負 債 の 部]	
流 動 負 債	5,932,705
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	4,742,623
1年内返済予定の長期借入金	380,000
そ の 他	810,081
固 定 負 債	561,512
長 期 借 入 金	450,000
退 職 給 付 引 当 金	28,032
そ の 他	83,479
負 債 合 計	6,494,217
[純 資 産 の 部]	
株 主 資 本	7,532,271
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,317,207
利 益 剰 余 金	4,722,743
自 己 株 式	△ 21,367
評 価 ・ 換 算 差 額 等	3,747
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	3,747
純 資 産 合 計	7,536,019
負 債 ・ 純 資 産 合 計	14,030,236

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 9,436,160千円

損益計算書（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

(単位:千円)

科 目	金 額
売 上 高	16,450,843
売 上 原 価	14,477,481
売 上 総 利 益	1,973,362
販売費及び一般管理費	1,505,338
営 業 利 益	468,024
営 業 外 収 益	51,772
営 業 外 費 用	16,206
経 常 利 益	503,590
特 別 損 失	134,401
税 引 前 当 期 純 利 益	369,188
法人税、住民税及び事業税	74,674
法 人 税 等 調 整 額	△ 108,824
当 期 純 利 益	403,338

(注) 1株当たり当期純利益 66円73銭

会社の概要

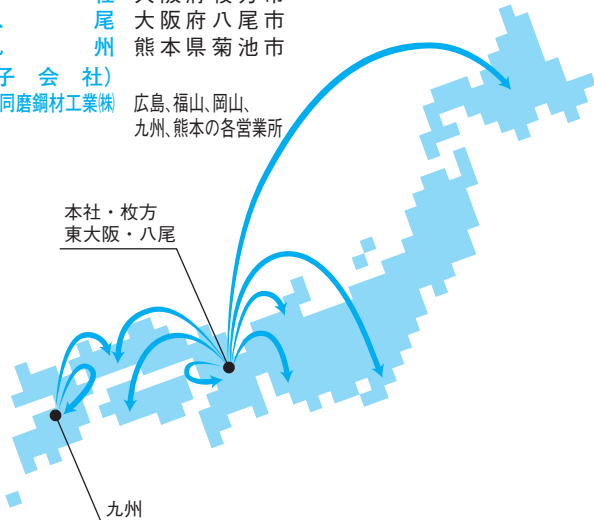
平成30年3月31日現在

社 名 株式会社サンユウ
所 在 地 本社／大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号
電話：072-858-1251 FAX：072-858-2672
設 立 昭和32年1月
資 本 金 1,513百万円
従 業 員 数 192名（単体）243名（連結）
事 業 内 容 みがき棒鋼の製造、加工及び販売
冷間圧造用鋼線の製造、加工及び販売

主な事業所及びネットワーク

平成30年3月31日現在

本 社 大阪府枚方市
(営業店舗)
枚 方 大阪府枚方市
東 大 大阪府東大阪市
八 尾 大阪府八尾市
九 州 熊本県菊池市
(工場)
本 社 大阪府枚方市
八 尾 大阪府八尾市
九 州 熊本県菊池市
(子会社)
大同磨鋼材工業㈱ 広島、福山、岡山、
九州、熊本の各営業所



重要な子会社の状況

平成30年3月31日現在

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主要な事業内容
大同磨鋼材工業株式会社	20百万円	100.0%	鋼材の販売
三和精密工業株式会社	10百万円	100.0%	みがき棒鋼の精密機械加工及び加工品の販売

(注) 平成30年2月14日開催の取締役会において、平成30年4月1日を効力発生日として、当社100%出資の連結子会社である三和精密工業株式会社を当社に吸収合併することが承認可決されましたので、当社は平成30年4月1日に三和精密工業株式会社を吸収合併いたしました。

役 員

平成30年6月28日現在

代表取締役社長	西 野 淳 二
取 締 役	加 藤 和 彦
取 締 役	清 水 良 寛
常 勤 監 査 役	山 田 邦 夫
監 査 役	熊 岡 繁 喜
監 査 役	長 谷 川 泰 一 郎
執 行 役 員	水 野 由 実
執 行 役 員	長 谷 川 豊 藏
執 行 役 員	大 槻 晃 弘
執 行 役 員	笹 山 英 俊
執 行 役 員	向 井 徹

(注) 1. 取締役清水良寛氏は社外取締役であります。
2. 監査役熊岡繁喜及び長谷川泰一郎の両氏は社外監査役であります。

株式の状況

平成30年3月31日現在

発行可能株式総数 19,344,000株
発行済株式の総数 6,091,000株

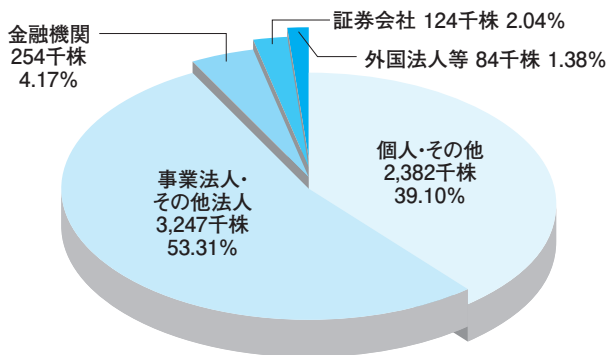
株 主 数 1,396名

大 株 主（上位10名）

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
新日鐵住金株式会社	2,035 千株	33.67 %
株式会社メタルワン	315	5.21
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	295	4.88
日鉄住金物産株式会社	250	4.14
村 岡 克 彦	243	4.03
永 田 麻 里	187	3.10
佐藤商事株式会社	180	2.98
サンユウ従業員持株会	153	2.54
柏 木 伸 夫	135	2.25
株式会社りそな銀行	110	1.82

（注）持株比率は、発行済株式の総数から自己株式（46,450株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告により当社ホームページ（<http://www.sanyu-cfs.co.jp>）に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

各種お問合せ先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777（通話料無料）

※受付時間 9:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）

IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信しています。

配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）いただけます。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=5697>

IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。

